

施策の体系

【潮来市の教育環境を巡る課題】

社会的要請への対応

人口減少、少子高齢化への対応
 激変する社会情勢に対応できる、生きる力を養う学校教育
 学校、家庭、地域の連携による教育の充実

生涯にわたり、学び活躍できる学習環境づくり
 学びのセーフティネットの構築

■潮来市の教育を巡る課題の整理

(1) 就学前教育における課題

- 保育ニーズの高まりに対応した幼児教育・保育環境のあり方
- 小学校へのスムーズな移行、小中学校と連携した教育

(2) 学校教育における課題

【学校教育】

- 表現が苦手な子供たちに対する自主性・自立性が必要
- 悩みや不安をもつ子供への早期発見・早期対策
- 教職員の業務の軽減、授業や子供と向き合う時間が必要
- 潮来の子供や若者が市内に残りたいと思える郷土愛が必要

【学校の規模、教育環境】

- 子供の減少や今後のまちづくりを見据えた学校の適正化
- 教育施設の長期的な視野での利活用計画が必要

(3) 青少年育成、家庭教育における課題

- 学校に求めすぎない家庭での教育
- 地域全体での家庭教育の支援や充実が必要
- 子供や青少年を取り巻く情報化等に対応した育成が必要

(4) 生涯学習における課題

【生涯学習活動】

- 市民ニーズの多様化、市民が真に主体となる活動が必要
- 地区組織の弱体化の懸念、次世代のボランティア意識が必要

【スポーツ・レクリエーション活動】

- 人口減少や高齢化に対し誰もが楽しめるスポーツ普及が必要
- スポーツによる地域振興に期待(水辺環境の活用、茨城国体、東京オリンピック、パラリンピックを契機とした交流促進)

【図書館活動】

- 子育て層への魅力あるアピールに向けた市立図書館の子供向けサービスや学校との連携の更なる充実が必要
- 生涯学習の拠点の一つとしての交流活動の充実と拡大を期待

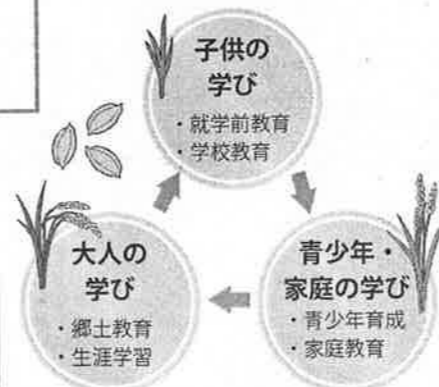
【地域文化・芸術活動】

- 文化財や郷土史料、郷土芸能を担う人の高齢化、経費拡大
- 子供だけでなく大人を含めた郷土文化への理解不足

潮来市教育振興基本計画 【計画のテーマ】

みんなが学び
 潮来の教育・人づくり
 未来を拓く

学びの持続・継承



【施策の体系】

基本方針 1

未来の潮来を担う
 子供たちと学び・育む

基本施策

基本施策 1

自主性・自立性を育む
 学校教育の充実

主な取組

- 1 確かな学力を育む質の高い教育の推進
- 2 豊かな心を育む教育の推進
- 3 健やかな体を育む教育の推進
- 4 激変する社会で活躍できるたくましい人材の育成
- 5 教職員が働きやすい環境づくり

基本施策 2

安心して学べる環境づくり

- 1 教育支援環境の充実
- 2 より良い学習環境を持続するための学校適正化や学校連携の推進
- 3 学校施設や通学等の安全対策の充実
- 4 学習機会の提供と支援体制の充実
- 5 学校給食を生かした食育と食の安全対策

基本施策 3

子供と共に学び育む
 就学前教育・家庭教育・
 地域教育の充実

- 1 人格形成の基礎を培う就学前教育の充実
- 2 親の学びの支援と家庭の教育力の向上
- 3 時代に即した青少年育成活動の推進
- 4 学校と地域との連携による教育環境の充実

基本方針 2

ふるさと潮来の魅力を
 学び・育む

基本施策

基本施策 4

生きがいをもち活躍できる
 生涯学習活動の推進と
 学習環境づくり

主な取組

- 1 市民のライフステージに応じた生涯学習機会の充実
- 2 生涯学習やまちづくりを牽引する人材の育成と学習成果の活用
- 3 生涯学習の拠点となる公民館や市立図書館等の充実
- 4 情報通信技術による生涯学習活動の活性化

基本施策 5

健康長寿を支えるスポーツ・
 レクリエーションの振興

- 1 「市民一人1スポーツ」の推進
- 2 潮来らしさを生かしたスポーツ・レクリエーションの振興
- 3 茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興
- 4 スポーツ・レクリエーションを支える環境の充実

基本施策 6

郷土の誇りとなる潮来文化の
 創造・継承

- 1 文化活動を活性化する文化・芸術活動の振興
- 2 潮来の誇れる伝統文化の保存と次世代への継承
- 3 水郷を生かした文化交流の促進
- 4 文化・芸術活動を支える環境の充実